

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	各務原市福祉の里児童発達支援センター B1フロア（たんぼぼ）		
○保護者評価実施期間	令和6年9月27日		令和6年10月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	令和6年9月27日		令和6年10月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・親子通園の中で、お子さんの成長を職員と一緒に感じたり、ご家族との対話を大切にしたりしながら、その時々直接的な支援を行っている。	・初めて療育施設に通ってくださる方が多いことを踏まえ、利用児親子が安心出来る雰囲気心掛け、育児や療育について話しやすい関係を作るよう努めている。 ・親子で楽しくいろいろな経験をし、生活リズムを整え、お子さんがもっている力を発揮していただけるよう、個別の支援計画を立て活動や訓練を行っている。	・療育の入口を担う事業所として、お子さんのライフステージを繋ぐ役割を担えるよう、関係機関とのこまめな連絡調整や研修へ参加するなどして情報収集を継続し、ご家族のニーズに合った支援の提案が出来るようにする。 ・保護者向けの研修会や座談会において、ニーズに合った企画を提案していきたい。
2	・多職種の職員が、ひとりのお子さんに関わり多面的視点から支援をしている。	・毎日の朝礼夕礼、ケース会議、日々の対話の中で、支援中の出来事を職員全員で共有することで、各職種の専門性や得意分野を生かし、お子さんへの理解を深めるよう心掛けている。	・評価や支援の具体的な方法については、職員間で計画、実行、振り返りという作業を繰り返し、支援のマンネリ化や偏りを防ぐ。 ・職員間、各職種間で勉強会を行い、異動や新任職員を含め職員全体の資質向上に努める。
3	・活動内容や環境設定は、お子さんが安全に過ごせること、また、お子さんの力が発揮出来るように考えている。	・お子さんに合わせた声掛け、構造化した環境、安定した姿勢設定の中で、色々な遊び（感覚あそび、運動あそび、親子間のふれあいあそび、製作、屋外散策、季節のあそびなど）を経験出来るよう活動を考えている。 ・給食における食支援としては、離乳食、再調理食、偏食対応など、安全に楽しく食事を楽しめるよう丁寧に取り組んでいる。	・個別懇談や、日々の対話にて、児童発達支援管理責任者が中心となり、お子さんの成長に合わせて、支援の内容や、目標設定をこまめに確認していきたい。 ・毎月の安全点検や毎日の清掃においても、安全な環境作りを意識している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・お子さんにとって部屋の広さや設備が不足していると感じることがある。	・建物の構造上、広さなどはこれ以上変えられない部分はあるが、身体を使った活発な遊びを保障したい時期のお子さんにとって、現状の部屋はやや狭いと思われる。また、肢体不自由のお子さんには、姿勢保持のための椅子や道具を要するため、道具を置くための倉庫があるとよいと感じる。	・整理整頓を徹底し、快適な活動空間を維持する必要がある。月に1回の安全点検、不要なものを破棄したり、遊びの場として適しているか定期的に確認する必要がある。 ・活動の場として、法人内の共有スペースや他施設の活用を継続する。
2	・日々の振り返り、さらに業務全体をより良いものにしていくための取り組みに、職員全体が参画する仕組みが不足している。	・毎日の朝礼や夕礼など、情報共有の時間は作っているが、多職種であるため業務時間が揃わないことがある。	・PDCA等、問題点の気付きや解決に向かう提案が出来る話し合いを、短い時間でも職種内～他職種間で習慣化することが必要である。
3	・児童発達支援センター一元化や法改正等新たに提示されている事や運営基準、各マニュアルについての職員の理解が不足しているところがある。	・運営上の規定や各マニュアル（危機管理、虐待防止等）は、定期的に確認しないと理解が周知されにくい。また、法改正後の準備期間にあるもの（支援プログラム、安全計画等）は職員間で対応を進めている。	・業務にかかる職場の規定は定期的に確認し、職員全体が理解し、利用者にも説明できるようにしたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 福祉の里児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月1日 32人配布

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1	1			・お子さんの様子や活動に合わせ、部屋の広さや配置に配慮します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2	1		○年長の子が分離の時はその子たちに先生の手が取られ他の子に十分な手が回らないと申し訳ないと思っています。 ●肢体不自由のある娘なので、色々動く経験をつんで欲しい。多動のあるお子さんもうらっしゃるので仕方ないとは思いますが休み時間はPT室も使えるなど、もう少し広い部屋で活動したかった。	・お気遣いありがとうございます。年長さんの家族分離の他、支援内容に応じて職員の配置を工夫しながら対応させていただいています。 ・お子さんに合わせて、いろいろな経験をしていただきたいと思います。現在は、休み時間は「PT室」の他、「なかよし広場」や「アリーナ」を使っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	1	2		・保育室では、整頓された環境の中で絵や写真カードを使う等、視覚的に分かりやすいよう工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	2				・お子さんの降園後、毎日マットや手すりなど消毒しています。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19			1		・ご家族のお考えや普段の支援の様子を、各職種で共有し、よりよい支援を提供出来るようにしています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 福祉の里児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月1日 32人配布

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1		4	<ul style="list-style-type: none"> ●支援プログラムがどこに記載されているのか分かりません。 ●確認していません。 	・申し訳ございません。支援プログラムは施設内に掲示、ホームページに掲載いたします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1		2		・発達支援支援計画書は、児童発達支援管理責任者を中心に、各担当職種が集まって会議を行い作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	3		2	<ul style="list-style-type: none"> ●支援内容はやや抽象的だと思います。 ●ガイドラインを把握できていません。 	・個別支援計画に基づき、毎日の登園時や個別懇談（年に3回）の中で、お子さんに合った支援を具体的に分かりやすくご説明するよう努めます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	2	1		●製作や感覚あそび等、もう少し色々な活動をしたかった。	・いろいろなあそびや経験をしていただけるよう、活動内容を見直しや挑戦をしたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	1		2	○今年度から再開して嬉しく思います。もう少し回数が多いと嬉しいです。	・コロナ後、久しぶりに地域園との交流保育が再開になりました。今年度は年に4回の実施でしたが、効果的な交流の機会となるよう内容や回数を再検討し、次年度も参加していただけるよう計画します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 福祉の里児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月1日 32人配布

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				〇きちんと説明頂きました。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2		3	〇個人的に先生方にはとてもよくして頂いている。 ●おたまじゃくしの会が参加できない曜日に設けられていると、なかなか参加できないので残念だった。	・おたまじゃくしの会（職員との交流、勉強会）は、月に1回行っています。多くの方に参加していただけるよう、日程や内容については次年度の課題にします。 ・ペアレントトレーニングは、次年度以降に取り入れるよう計画します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	17	2		1		・日頃の様子、気になったことは、お気軽にご相談ください。 ・現在、たんぼぼフロア内の看護師が不在ですが、つくしフロア、総務課に看護師が居ます。健康面や病院での様子など必要に応じて共有しております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19			1		・普段の登園時はもちろん、子育てノートを通じたやり取りも大切にしたいと考えています。 ・また、個別懇談は年に3回行います。ご希望に応じて、発達相談会や小児科医師の診察などもご利用ください。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 福祉の里児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月1日 32人配布

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
護 者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				○いつも寄り添って頂けて本当にありがたいです。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4		3	○クラスが別になったことにより他のクラスの親との交流が一気に減ったように感じます。母子通園にとっては、親同士のつながりが大きなメリットになるのでもっと増えるといいなと思います。 ●たんぼぼ1と2が合同でほのぼのサークルをするとお互い話し辛いこともあった。クラスごとに交流する時間も欲しかった。 ・まだ通ったばかりで分かりません。	・毎月のほのぼのサークル（保護者の会）の準備や参加に感謝しております。保護者同士の交流の機会は、私たちも大切にしたいと考えています。 ・ご意見を参考に、今後の計画に活かしていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2		2		・相談やご意見をいただく際は、なるべく早く個別でお話を伺います。どうぞお気軽にお声がけください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 福祉の里児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月1日 32人配布

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	2		3	●アプリでの連絡、発信がややゆっくりだと感じます。	・アプリを含め、通信やホームページのスムーズな更新に努めます。 ・現時点では紙面や電話、メールでの対応になっています。ご協力の程、よろしくお願いいたします。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	2				・個人情報の取り扱いは十分配慮します。また、普段のお話しの際、内容によっては個室での対応を徹底します。配慮が不足していることがありましたら、大変申し訳ございませんが、ご指摘ください。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		1		・年度初めの重要事項説明会の際に、大まかなお知らせをしておりますが、各マニュアルについての細かい内容は、現時点で十分なお説明が出来ていない箇所があります。早急に掲示するなどの対応に努めます。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			3		・毎月の避難訓練へのご協力ありがとうございます。様々な状況に対応した訓練は今後の課題とします。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19				1	・毎月各部屋の「安全点検」を行い危険箇所を確認しております。また、法人による「職場巡視」にて、これを含めた確認をしております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 福祉の里児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月1日 32人配布

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			1		・怪我などの際は、心身への対応と同時に、状況把握と改善案、そのご報告を行います。
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19			1	○喜んで通っています。 ○子どもは毎回通所を楽しみにしています。先生方と会えるのが嬉しそう。	・通所の開始時期、普段の生活、心配事のある時など、その時々のお子さんご家族の方に安心して通所していただけるよう、職員一同努めてまいります。
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2		2	○ニコニコです。 ・通ったばかりでまだ分かりません。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 福祉の里児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月1日 32人配布

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	17	2		1	<p>●昨年が良すぎてどうしても昨年の体制と比べてしまう。</p> <p>①毎日通うことが出来た。</p> <p>②午後の活動も参加出来た。</p> <p>③職員の数が多く我が子に丁寧に関わってもらえた。</p> <p>④毎日様々な活動が行われ、幅広く経験を重ねることが出来た。</p> <p>⑤肢体不自由や基礎疾患をもったお子さまのママ達と、日々情報共有や悩みの共有をすることが出来た。</p> <p>たんぼぼ1と2を分けた結果通える日数やリハビリを受けられる回数に差が生まれてしまうのは、正直「うーん」と感じています（贅沢ですが。）たんぼぼ1のお子さんでも2の元気な雰囲気が好きなお子さんもいらっしゃるし、クラスを分ける必要性をあまり感じませんでした。せめて月に何度かは合同でやりたい。</p> <p>・とても満足しています。</p>	<p>・今年度より、センター一元化（つくし、たんぼぼが統合）したため、昨年度とサービス内容が変更になった部分があります。ご心配や、ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。</p> <p>所属クラスの支援の充実に加え、センター一元化を活かし、たんぼぼフロア内の交流、つくしフロアとの交流などを取り入れ、お子さんの経験の幅が広がること、ご家族同士の情報の共有が出来る機会を作るなど、お子さんやご家族に合わせてよりよい支援をご提案できるよう努めます。</p> <p>アンケートへのご協力ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	・お子さんが活動しやすいよう、ロッカーや棚、おもちゃ、椅子等の置き場を変えながら対応している。	・訓練室がけずられている。 ・活動等に使用していない部屋があるときは、遊戯室等に出来ると良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2		・保育士の質やベテランの意見が重要と思われる。 ・日定員の1対4を守っているが、職員一人当たりの担当人数にはばらつきがある。業務全体を見て協力するための役割分担を行う必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・お子さんの特性を配慮しながら、情報量の整理、視覚的な手がかり、持っている力が発揮しやすい姿勢や道具の使用など、効果的な環境づくりに努めている。	・部屋の広さや倉庫などが限られるため、整理整頓を徹底する必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	・ゴキブリが時々出るため、定期的に棚の後ろを点検したり、捕獲シートを置いてたりしている。	・物が多い。広さに課題がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・必要に応じて、他の部屋やなかよし広場、アリーナを併行して利用している。	・出来てはいるが、使用できる場所がもっと増えると良い。 ・部屋数、広さが足りない。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
業 務 改 善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	5		・業務を振り返る機会を作り、職員全体でこのような取り組みに参画する意識を持ちたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・評価を職員間で共有している。	・評価に基づき具体的な対策については、もっと検討したい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		・第三者による外部評価結果等は、定期的に職員間で共有し業務改善につなげたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・法人内の定期的な研修がある。 この他、近隣地域の研修に自主的に参加している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）		公表日 令和7年3月13日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・児童発達支援管理責任者を中心に、お子さんに関わる多職種が、日々の対話の中でお子さんの様子を共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		・職員一人一人によって、アセスメントの視点がバラバラな部分がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	・サービス担当者会議では、職員間で各支援内容～立案について話し合っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・雑になっていないか気になる。 ・個別活動は少なく、目的意識が低い。 ・訓練は個別で対応している。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	・朝礼や夕礼を実施し、情報共有をおこなっている。同時に、記録者が会議録に記載し、後から会議内容を確認出来るようにしている。	・バス添乗や記録等の記入のため、打ち合わせがしっかりと出来ない時がある。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3		<ul style="list-style-type: none"> ・できていない時がある。 安全で安心できる環境づくりや、業務改善に向けた視点を維持続けるために日々の振り返りを充実させたい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		・個々による部分がある。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2		・全員が把握してるか分からない。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		・利用者の生活背景にあわせた利用の仕方を提案している。反面、併行通園に対してネガティブな意見もあり、一元化しても施設間で差がある。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		・担当者が対応している
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5	1		・判断しかねる。
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8		・法人主催で、いくつかの研修（感染防止・虐待防止等）は毎年職員全体へ向けに行われている。 ・職員個人では、経験年数や、個々の職種に合わせ、多方面の研修に参加している。	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	1	・担当者が対応し、その時々情報を収集し、職場内へ報告している。	
	(31は、事業所のみ回答)				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		・数は少ないが、地域園との交流はあるので、参加を促している。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		・おたまじゃくしの会（保護者との交流会）にて、研修の機会を設けている。ペアレントトレーニングは、今後計画していきたい。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・相談支援事業所やセンター内の相談部門とも連携して対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・「夢まつり」では、皆さんに楽しんでいただけような催しをしたいと考えている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		・定期的にマニュアルがどこにあるか確認する必要がある。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			・看護師の対応が不可欠である。
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・契約開始時には、アレルギーの有無を確認し、必要に応じて医師の指示書を踏まえ給食に提供する食材を変更するなどしている。 ・離乳食の時期にあるお子さんへは、食べたことのない食材を提供しないよう配慮し、離乳食の進み具合を都度確認している。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターB1フロア（たんぼぼ分）

公表日 令和7年3月13日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			職員間で問題提起しやすい関係作りは必要である。
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			